

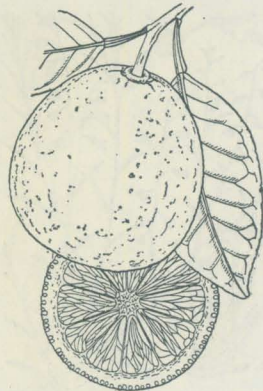
第 3479 図

まつかぜそう科



第 3480 図

まつかぜそう科



第 3481 図

まつかぜそう科



べにみかん

一名ベニコウジ

Citrus Benikoji Tanaka

高さ2m内外の常緑灌木。我国での栽培は古く、現在は紀伊、駿河等に点々と見るのみである。オオベニミカンに似るが果頂は窪まず、果基に腰がなく、果面は甚だ平滑、油胞鮮明で晩熟な点で異なる。枝条は密生して、扁平な樹冠をなし、小枝は稜角鋭く、刺なく、葉は互生し、楕円状披針形、不明鈍鋸歯があり、長さ7cm許、葉柄は無翼に近い。花は枝頂又は腋に単生し、径4cm許、白色、平開、萼裂片は5個、低3角形、鈍頭、微凸端、多雄蕊、1雌蕊がある。果実は扁平な球形、径6.5cm許、完熟すれば紅橙色、油胞の部は特に濃色、果皮は厚さ2mm内外、果肉は橙色、酸味強く、多胚の種子数個があり、胚は緑色。和名は紅密柑及び紅柑子の意である。

やまぶきみかん

Citrus Yamabuki Y. Tanaka

古くから静岡県に植栽される常緑大灌木で、高さ4m内外、枝条は疎生し、横向、下垂する傾がある。小枝には稜があり、刺なく、幼梢には微毛がある。葉は卵状長楕円形、先端鋭、長さ9cm許。不明鈍鋸歯あり、葉面淡緑色、葉柄に狭翼がある。花は枝頂又は腋に単生或は数花集合し、萼片5個は3角状、僅に縁毛がある。花弁は5個、稍反転し、雄蕊多数、雌蕊1個がある。果実は稍晩生、扁球形、球形、又は稍倒卵状球形、径10cm許、果頂は浅く窪み、果底も梗の周囲に窪みと皺がある。果皮は平滑、濃黄色、瓢囊は互に離れ難く、果肉は黄色、甘酸味は淡白である。種子は稍多く、白色、合点は紫色を帯び、単一胚を有する。

おおべにみかん

Citrus tangerina Tanaka

支那福州地方に多く栽培されるが、我国でも、紀州、九州、四国などに点々と植栽される。常緑性の灌木で、高さ4m許、枝は密生し、若枝には鋭い稜があり、通常無刺である。葉は互生し、稍淡色、楕円状披針形、先端鋭尖、浅鈍鋸歯があり、長さ8cm許、柄は殆んど無翼に等しい。花は枝頂に単生、白色、径2.5cm、少しく反転して開く。萼片は5個、低3角形、花弁は披針形で質薄く、多雄蕊、1雌蕊がある。果実は扁球形、径8cm、熟すれば濃朱紅色を呈し、果頂は窪み、果底は梗の附着部の周囲が瘤起して、不規則な腰をなす。果皮は薄く、剥がれやすく、厚さ2.5mm内外、浅い縦溝があり、油胞は密生し、果肉は濃橙色、多汁で甘酸味がある。種子には緑色の多胚がある。和名は大紅蜜柑、始め土佐で起った。

こなつみかん

一名たむらみかん、ひゅうがなつみかん
Citrus Tamurana Takahashi

田村利親氏が世に披めた一種で、日向及び土佐に栽培が多い。常緑灌木で通常高さ2.5m許、枝条稜角があり、刺多く、無毛である。葉は互生し、楕円形で両端尖り、不明鈍鋸歯あり、長さ8cm許、葉柄に狭翼がある。初夏枝端に単花、或は総状花序を出して数花を開き、花は径4cm許、白色芳香あり、花冠は著しく反転し、5萼片は鈍頭、5花弁は厚質、楕円形、多雄蕊、1雌蕊がある。果実は晩生で、短い卵状球形、径8cm許、鮮黄色で、表皮は粗で小凹点があり、果皮厚く、内側は白く、果肉と稍離れ難い。瓢囊は離れ難く、果肉は灰黄色、多汁で、甘くて酸味が少い。種子は稍大形で多く、白色の単一胚を有する。和名は小形の夏蜜柑の意。

まるぶしゆかん(枸櫞)

一名しとろん

Citrus Medica L.

レモン (*Citrus Limon Burm.*) に似るが、枝葉、果実共に粗大で、香気は一層強い。原産地は印度で、耐寒性は弱い。常緑灌木で、高さ3m内外、枝条は斜上又は彎曲垂下する。小枝は丸く稜角を欠き、刺は短大で長さ4-5mm、葉は互生、長楕円形、長さ13cm許、鋭頭鈍頭、葉縁に明かな鋸歯があり、柄に翼を欠く。花は枝頂又は腋に3-8個許、総状に出で、淡紫色を呈し、径3.5cm許、平開又は平開、花弁4-5個、鈍頭、舟形長さ2cm許、内面、白色、外面、淡紫色である。雄蕊は多数、花糸は淡紫色、雌蕊1個がある。果実は紡錘状卵形長さ8cm、果頂に鈍端の突出部があつて、縦縞を具え、果面は黄色、小起伏と凹点があり、果皮は厚くて剥がれ難い。瓢囊は分離し難く、肉果は淡黄色で酸味が強い。種子は稍多く、表面白色、合点濃紫色、胚は白色、単一である。和名は丸仏手柑。

からぶときはだ

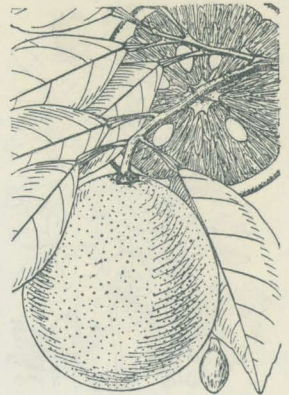
一名ひろはのきはだ

Phellodendron amurense Rupr.
var. *sachalinense Fr. Schm.*

樺太、北海道、本州など寒地の山地に生ずる落葉喬木。全体母種キハダに似るが、樹皮は薄く、小葉の幅は少しく広く、幼時に葉に綿毛がなく、花序は殆んど毛を欠く。高さ10m以上に達し、葉は対生、羽状複葉をなし、小葉は10個内外、卵状楕円形又は長楕円形で、先端は尾状に鋭尖し、基部は円形、縁辺に低鈍鋸歯があり、裏面は白色を帯び、短かい小柄を具える。夏日枝端に円錐花序をなして黄緑色の細小花多数を着ける。萼片、花弁は共に5-8個、雌雄花は株を異にし、雄花は5雄蕊、雌花は1雌蕊を具える。

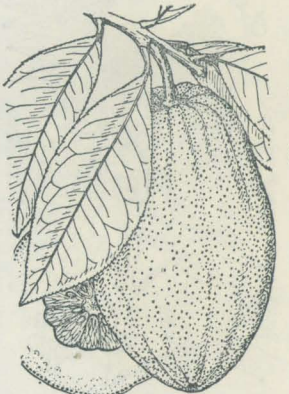
第 3482 図

まつかぜそう科



第 3483 図

まつかぜそう科



第 3484 図

まつかぜそう科

